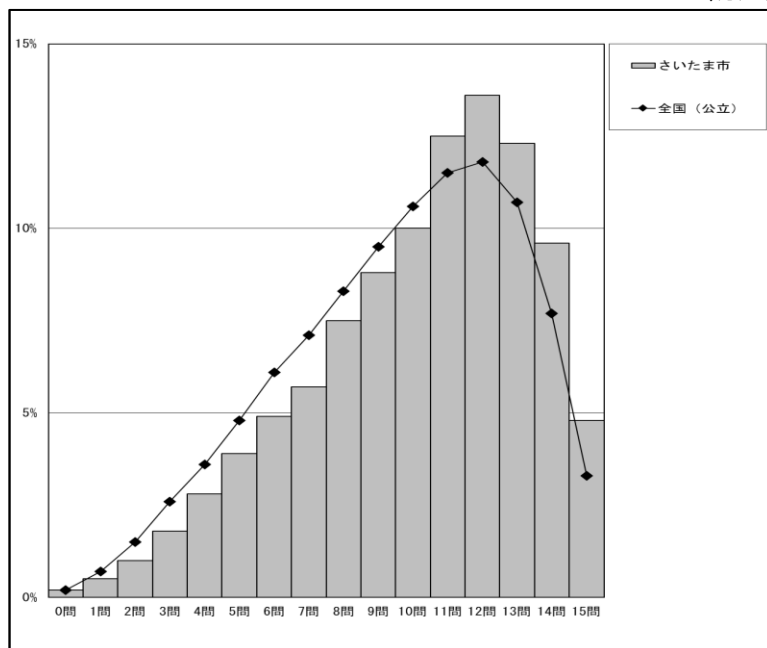


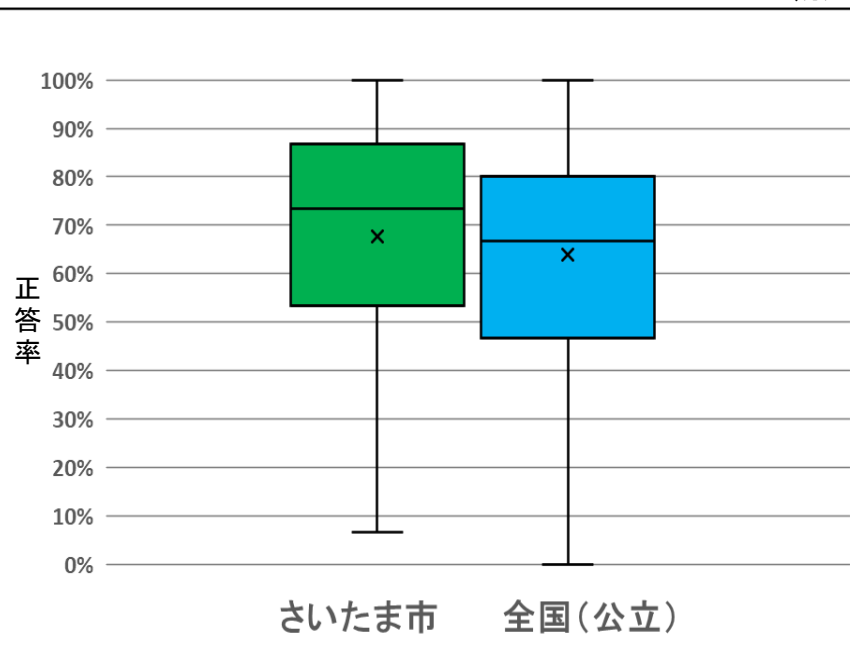
令和8年度全国学力・学習状況調査
「教科に関する調査」のデータの分布等

国語

(※1)

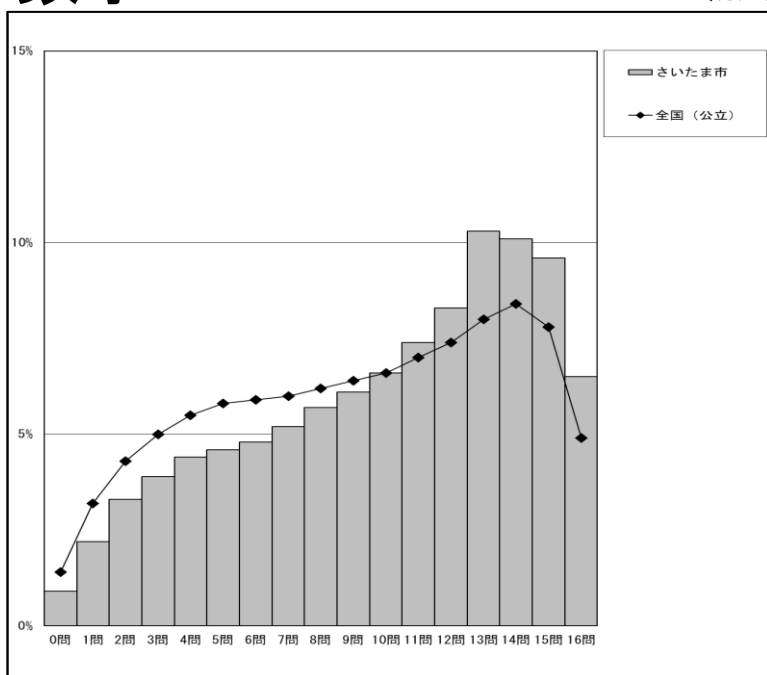


(※2)

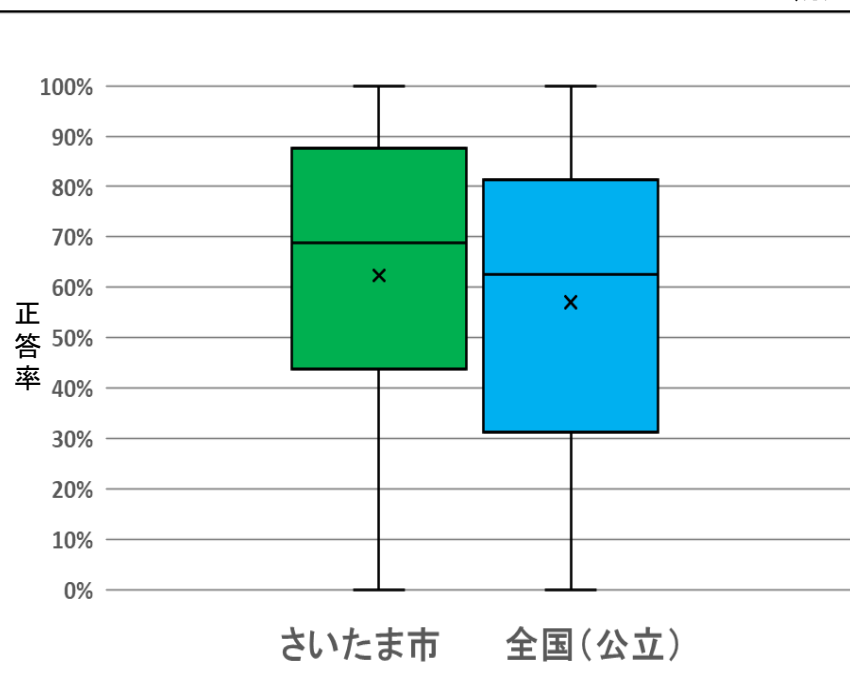


数学

(※1)

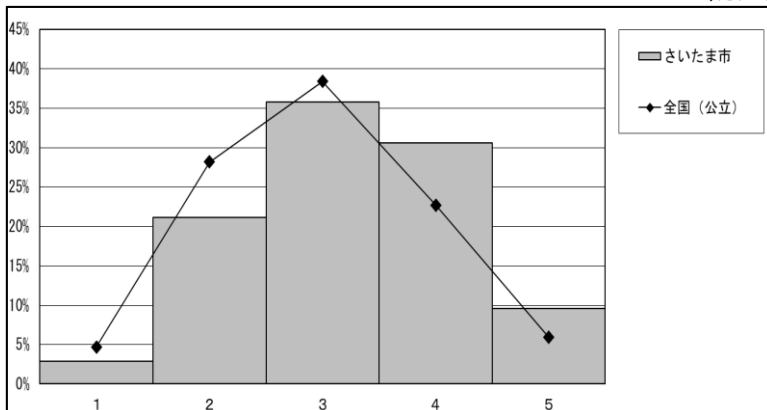


(※2)



英語(3技能 ※3)

(※1)



※1 正答数分布グラフ…
(ヒストグラム)

正答数(英語は1～5の5段階のIRTバンド)の分布状況を示すグラフ
* IRTバンドとは、本調査における個々の結果を5段階で示したもので、5が最も高い。
(例)IRTバンド3の人は、問題の難易度が「3」の問題をおおよそ(約80%の確率で)正答することができる力があると推定される。

※2 箱ひげ図…

最小値、最大値、中央値、四分位数(データを小さい順に並べて、4つに分けたときの区切りの値)、平均値を1つの図にまとめたもの
* 詳細は参考資料を参照

※3 中学校英語は、3技能(「聞くこと」「読むこと」「書くこと」)の調査結果を表している。
なお、「話すこと」を含めた4技能の調査結果は、9月以降秋頃を目安に公表される予定となっている。